12—23

夕立勘五郎（35）

神田伯治演　藤井耕達畫

忠言を斥く

小頭目屋仁兵衛が隙五郎の話を聞いて、

仁「それぢやア新潟の輪島の千代飯さんといやア良い親分だ、其千代飯さんの子分でございますか」

助「ア、さうか」

仁「用心棒となつて居た此の家の中の二人、長く居れば子分子分も兄弟々子だとか、剣術の弟子だとか、或は兄弟分だとかいつてる奴が、大方取返しに来たんでせう、何といふにも先方は大勢、命知らずの大馬鹿者、貴所方がそんな者には殺されなさる筋道ひはございますまいが、臨々明日峠へ掛つて行つて、其奴等と命の取りやりをなすつたつて詰らねえぢやアございませんか、事を好んで何も此の国峠を越えなければ上州路へ出られないといふ訳ではございません、他道を廻つて行けば信州路から上州路へ出て、江戸へ帰る道が幾らもございます、失礼ながら私が、朝暗い内からお逃し申上げたら、草鞋を穿いて峠へ掛らないで、江戸へ行けるといふ抜け道を教へて上げませう、宜しうございますか、さうしなさい、馬鹿な奴の所へ行つちやア詰らない、今いふ通り師匠殺しの罪人を召捕つた貴所方がそんな馬鹿者に逆らつて、命の取りやりをした所で仕方がねえ、第一盗人の罪を破つて逆襲の風に當てようなんて、マア飛んでもねえ心得違ひだ」

と真心籠めた市谷の言葉、始終を聞いて居た隙五郎、ア、親切な人だと思ひ、

助「アヽさうですか、大きに有難う存じました、少々お待ちなすつて下さい」

隙五郎、大庭佐四郎を見て、

助「大庭、どうしような」

暫くの間、首を傾けて居た大庭佐四郎、此人ばかりは親分おやすない、元二百石を頂いたお人でございます、フヽンと笑つて、

佐「イヤトンと差支へない、隙を以て道を倒すといふのは武器だ、他道なんぞを行くといふことは無だ、覚悟をいたして拙者は峠を通つて行く」

助「イヤ大庭さん、お前の気性として其様な事をいふだらうと思つた、けれども一人でも怪我があつちやアならねえ、どうだ佐内坂の」

佐内坂の彼十郎、

敬「ウム俺も峠を通つて行くよ、出安の繁兵衛」

繁「俺も矢張り峠だ」

助「ウムさうか、手前とらだな」

山田屋の隙五郎是を聞いて

隙「イヤ富蔵だ、俺なんざア峠を行くよ、臆かちやア面白くねえんだ、高の知れた越後ッポ、矢でも鉄砲でも持つて来い、江戸で計つたお蔭にやア、そんな事はビクともしねえ、さんばい何を知らねえのか」

助「皿で威張つたつて仕様がねえや」

辰「俺も峠だ」

助「若衆どうだ」

若衆屋吉五郎が

吉「御多分には洩れねえ質だ、大庭さんのいふ通り、隙を以て道を倒すに何の差支へもねえ、先方は逆だ、順の俺達を倒して敵を持つて行からなんて、飛んでもねえ奴だ、行くよ」

助「おやす峠へ行くか……エ、隙居さん、大きに有難う存じます、お志は忘れは致しません、親しく貴郎の御親切は頂戴致しますが、私達福を頂へて新潟の博奕打が四五十人待つてるのを怖れて、他道を廻つたといふ事が、江戸の者に聞えましては顔が立ちません、顔向けがなりません、大馬鹿を承知でなつた稼業でございます、笑つておくんなさいますな、峠を越えて参ります、お言葉に從つて油断しません」

農村團體の統制に課せられた諸問題
農振課の解決方針注目さる

金組事業部、系統農會、産業組合等に確立要を抱括的に指導するための農振課の擴大に就ては各方面より總督府の英斷として歡迎されてゐるがこれによつて次の如く從來の重要案件は漸次調整、解決されるものと見られてゐる

▼肥料の購入斡旋　目下農會金組ともに行つてゐるが農會では昨年より肥料部を新設して積極的に事業を行つてをり兩者間の協調統制は必須とされてゐる

▼副業共同販賣　系統農會で行つてゐるが從來の例を見るに産業組合が共販制を掘幷してきた例が尠くない

▼農地貸付問題　農會金組及び庫の對立はこのほど有無相通ずることによつて一應解決されたが實際問題としてはなほ協調を必要とする

▼鑛南その他産組對農會の繩叺共販の摩擦緩和

▼日本穀産を中心とする主要產の增産計畫統制

▼叺共販の將來及び調整等の諸問題

即も右の如き現實問題としても解決すべき諸點が多いが結局資金關係を金組が事業、指導關係を農會産組が分擔する方針に於て行ふことに農振課擴充の意義がありとされてゐる

協理事會に引續き十五日午前九時より二日間道會議室において理事協議會を開催したが、主要議題は最近の一般金融梗塞に鑑み資金の合理的調節に關する件を首め殖産契の市設、及び組合資同建設、共販共聯に關する重要問題の協議を行つた

七月一日から羅津稅關獨立
審議室で官制改正審議

北鮮三港の重要性は滿洲國との關係密接の度を加へ且つ北鮮地下資源開發に拍車をかけ裏日本との航路開拓を極めつゝあるに鑑み、羅津稅關の獨立を七月一日より斷行する事になり目下之が官制の改正は審議室に廻附されてゐるが、羅津稅關の獨立によりこれに統合さるべく見られてゐるのは城津、雄基、清津、三嶋、南陽、雄基の各驛の支署の如くである、尙ほ羅津本關の陣容は庶務課、檢査課、稅務課、鑑視課の四課を設置、係員の増加に伴ふ之れが異動も相當廣範圍に行はれる模樣である、而して事務所は滿鐵埠頭事務所に當分置かれる事になつてゐる

貸出回收順調
預金も漸減を辿る
五月末全鮮銀行勘定

全鮮銀行五月末現在預金及貸出高は預金四億一千三百一萬一千圓貸出八億四千七百九十九萬九千圓で四月末に比し預金三百九十六萬八千圓貸出八百四十六萬七千圓の各減少となつた、預金に於ては定期は七百六十餘萬圓の激減となつたが通知が三百餘萬圓の增加となつたのでカバーされ、貸出に於ては殖銀の公共産業及貯銀貸付より成る其他が增加したほかは殆ど全面的に減少し、貸付金の回收が漸次行はれつゝあるのを示してゐる、次表手形交換所調(單位千圓△印減)

◇…預金

	五月末	前月末比
定期	[illegible]	△[illegible]
當座	[illegible]	[illegible]
特當	[illegible]	△[illegible]
通知	[illegible]	[illegible]
其他	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	△[illegible]

◇…貸出

	五月末	前月末比
證書	[illegible]	[illegible]
手形	[illegible]	△[illegible]
貸越	[illegible]	△[illegible]
割手	[illegible]	△[illegible]
荷手	[illegible]	△[illegible]
其他	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	△[illegible]

なに前年同期に比し預金百五十五萬四千圓減貸出一億三千三百九十七萬五千圓の增である

東拓米資帳尻

東拓の五月末米資貸出高は六、三四一千圓にして内譯は
低利資金　四、九二〇、七八一

自己資金

自己資金　一、四二〇、八七六
前月末に比すれば一、六二四千圓を減じ、同じく前年同期に比しても三、一九四千圓の減で米資貸出は漸減ぶりが顯著となつてゐる

京識金聯支部協議

京識金組支部では十四日の道主…

紡績女工不足で本府に斡旋要望
各工場間の無統制も原因

半島に於ける纖維工業は近年著しき發展を遂げ重要産業統制法の適用さへ考慮される狀況にあるが、これ等の趨勢に伴ひ當然の歸結として女工の拂底を來し各工場共之れが對策に腐心し、總督府社會課に對し之れが斡旋方を要望して來た

昨年末現在の鮮内紡績工場は職工五十人以下二百七十九、百人以下三十五、百人以上五十一の合計三百六十五で、使用男女職工數は二萬九千二百七十八人に達してゐるが

各工場共何等統制、協調なきため女工拂底の惱みは依然解消されず操業能率共支障を來す憂があるので社會課では殖産局と折衝、募集地域の協定に乘り出すことゝなりこれが研究を進めてゐる

京城送電工事進捗

朝鮮送電會社の京城送電線(延長百九十五キロ十五萬四千ボルト)その工事進捗狀況は左の如く六月上旬に於て夫々

▲京城保安間送話設備完了

▲送電塔建設組立四四％終了基礎工事三五％終了敷地其他八〇％終了

▲京城變電所工事假變電設備完了建設物其他七〇％終了

と進行し材料手當の遲延から若干…

財政收入の支柱から……
經濟矛盾の調節機能へ
ナチ經濟に範をとつて
大藏省ブレーンの企圖

新租稅原理の動き

【東京電話】賀屋財政下の租稅政策については明年度豫算が本年度豫算に比し六、七億の膨脹を不可避とすると見られてゐるだけにその動向は一般の注目するところとなつてゐるが、大衆結城稅制を基調としてせいぜい一億前後の臨時增徵に止まり、根本的改革はやるまいとする觀測が有力であるものゝ、一方また豫算膨脹の趨勢を前に、いつまでもその日暮しの臨時租稅政策でもあるまいとする意見が、藏の大藏省内の少壯幹部の間に擡頭しつゝあり、その內容は未だ實驗室的議論の範圍を出でないとはいへ、今後の情勢如何によつて急展開をみるやもしれず、成行を注目されてゐる

即ち未だ實驗室の範圍を出でない議論とは今後の租稅政策の重心は「目に見える租稅」即ち直接稅から「目に見えない租稅」即ち間接稅に漸次移行して行くべきものであり、而してこれと共に從來の租稅觀念はこゝに革命的變革を要求されるといふのである、といふのは從來の租稅は國家財政收入の支柱といふだけの意義だけしか與へられてゐなかつたが、來るべき租稅はこれだけに止まらず、租稅自身の運動過程を通じて經濟的矛盾の調節的リアクションを擔當すべきものであるとなすのであつて、かゝる租稅はすでにドイツ經濟に於て徐々に實行に移されつゝあり、ドイツに於てはかゝる租稅原理に基いて物價統制、消費統制の効果的遂行が期されつゝあるといふにある

如上の大藏省ブレーンの企圖は技術的領域にわたる細目については未だ全く明瞭をかくが、かゝる租稅思想に基く方策は我國に於ても次第に具體化される必然性を有して居り、統制經濟の進展と共に一應留意を要する問題とされてゐる

金本位復歸策か
佛國の割引步合引上
國債擔保割引步合も引上げ

【パリ十四日同盟】フランス銀行の公定割引歩合引上げに關し種々の批評が行はれてゐるが、一部財界消息通はブルーム内閣は財政上の赤字補塡のため本年末までに三百億法を必要とする情勢にありこれが必要に應ずるため金爲替本位に轉換するのではないかとの觀測を下してゐる

【パリ十四日同盟】フランス銀行は公定割引歩合引上げと同時に國債擔保貸付歩合を五分から七分に、三十日物貸付歩合を四分から六分に夫々引上げた

産金移出漸增
五月は一千萬圓突破
累計は二千五百萬圓

朝鮮に於ける産金額は益々旺盛を極め、これが移出量も本年に入り二千五百九十五萬一千三百六十四圓に達し殊に五月十五日に於ける政府の地金買上値引上に刺戟されて一躍一千萬圓の移出額を見るに至つた事は稀有の現象とされてゐる、本年一月以降の移出狀況は左の通りである(單位圓)

月	移出額
一月	三、七六一、三〇[illegible]
二月	三、八一六、五〇六
三月	四、六八四、九七八
四月	四、六〇三、[illegible]
五月	一〇、〇八五、[illegible]

鐵道上旬荷動き

鐵道局六月上旬の荷動は前旬に引續き好調で生果、野菜、木材、石炭、鑛石、セメント、鹽、肥料、雜貨は增加、穀物、薪炭、建材等は減少したが鐵道取扱高計二十七萬八千二百六十五噸で前年同旬に比し二萬六千四百九十噸の增加である

貸物引換證刷新
朝運が赤線を普及

朝鮮運送では貨物引換證の赤線貨物引換證の擴充の協議會を十五日府民館に於て行つたが同社ではこれにより朝鮮主要貨物集散地に赤線引換證の發行を見ることとなつたので、この際小運送業者の引換證と重複する鐵道貨物引換證との間を一元化する意向である

内地では既に小運送業の引換證に依り一般に鐵道の貨物引換證は利用されてゐないが、朝鮮では小運送業の荏苒の低信用から鐵道引換證には引取規定其他の繁雜なるものあるに拘はらず今尙使用が行はれてゐるが、丸星の赤線付引換證の擴充に依り小運送の流通信用は安固たるものとなり結局鐵道引換證は重複する事となつてゐる

鑛業界殷盛で杭木の供給難

鑛山界の活況繼續と共に豫ねて杭木不足の懸念が抱かれてゐたが、最近に至り採掘活況と產金獎勵の一段伸展の內にあつて杭木難が一段と深刻化してゐる、特に杭木需要中大きい石炭鑛業と產金事業は最近に入り愈々大量の需要を喚起してゐるがこれに對し杭木の供給は林政上の建前から濫伐を許さず若齢樹なるため可及的に制限する必要があり、從つて需要增に拘らず供給が制限されてゐる狀態である

安東造紙公司
操業開始は本年末頃か

昨年夏王子系で設立した安東造紙有限公司（資本金五十萬圓內三十萬圓）は王子北他から約六、七十萬圓の借入れを行ひ工場建設中であるが、早くて今年末までに操業開始の豫定である、製品は新聞用紙で滿洲帝國、市政府等に供給するはずであるが、なほ同社は操業開始後借入金返濟及事業擴張のため拂込徵收及び增資を行ふものと見られてゐる

京城手形交換高

京城手形交換所調查、府內組銀の前週手形交換高は枚數三萬六千七百九十九枚、金額二千四百八十四萬八千三百三十四圓にして之を前週に比すると枚數においては一千八百四十八枚の增加なるも、金額においては七百六十七萬六百六十八圓の減少となつてゐる

穗落

鑛業界では杭木難、纖維工業では女工難、工場設置には敷地買收難こんな調難續きでは困つたもの▲おまけに資金難になつてくれば仕方もあてられぬ▲米價の判斷が來ないと云ふ賴ぱしいが早魃に米價も不安▲これから梅雨に入るのに悲觀は未だ早い▲もし今年も昨年同樣不作だつたら農村はフンダリ蹴つたりおや御大難▲さう無慈悲でもあるまい▲內地では農會運動へ產組は旭日昇天の勢ひ▲勢力と組織の關係と云へばそれまでだが當局の農村團體の統制には公平無私で偏頗があることは勿論あるまいと信ずる

株式
外電安響かず小固く推移
漸く賣込み目立つ

前場　今朝は外電安を入れて氣配に反發なく敗地の如きは大手の突込賣りが目立つて來たので地場は之が踏み上げを狙つてゐると云はれ又雜株にも相當突込賣りが出てゐる事であり五人組への逆同貸も可成あるとみられてゐるので案外に手閉き成行をみせてゐるので當所は新東一五三圓一と一安大新九二圓一と一高新鐘二七二圓丁日産七八圓四鐘新三三圓九と變りなく寄附あと大新は二圓二から一圓八と不味新東は一五三圓一に面付となり新鐘は二圓丁から三圓丁と一圓高をみせ日産は總見送りとなり極度の閑散商狀を呈し結局前場に比し新東一高大新一高日産一安新鐘三高鐘新同事と引けた

後場　前場極度の閑散に了りたるあと後場は新東一五三圓八と六高新鐘二七三圓丁と七高鐘新三三圓九寄入一四〇圓丁と寄附あと此盛の保合にて氣乘薄に推移した

賣込みの形跡

スチール株は經濟を報じたが相場は案外に離りしてゐる下値が固いのは玉整理の進んだ關係もあり相當賣込んで來てゐるからでもある而して問題は明年度豫算の要求額は九億を突破すると云はれてゐるが陸軍としても事變擴大の要求に應ずる根源を確立する爲め財政經濟の五ヶ年計畫を企畫廳に提出し生産力の擴充國策を要求すると傳へられてゐるのは從來の豫算獲得第一主義から更に一歩前進したものであつて財界ではそれが物價騰貴を要求するものではあるとしてもこの計畫が實現されるに伴ひ各省の計畫經濟案が加へられるから寧ろ躍進を北陸付けると共に前途の見透しもつく事になるものであるとなし之を注目すると共に大體にかて好感してゐるやうである從つてかゝる事情が漸次判明しその反面インフレは徐ろに進行しつゝある事とて臨時議會後にかては右の如きものが材料となつて投資筋の出動を促がす事になりはしないかとみてゐるやうである主力株も雜株もみな利廻まで叩かれてをりこの間軟派は知らずくの間に賣込んで來つゝあるからもはや大きな下値はあるまいと思ふ併し目先としては主力株も雜株も戻り賣に一間して小さく揃つて巧みに立廻るのが最も賢明であると云へる增配が物を云はず材料も利かない所にやがて臨騰すべきものが胚胎してゐるのだ

東部人織の拂込額如何

實物前場　翌日行油新三三七ソ鐵業二七四圓丁エタベイ十九三四圓丁九州ソーダ四…

東洋人織は愈々本年末には現在能力七噸半を十五噸に增大することになつた新設備も一段と四萬錘に增加し自家設備の進捗してゐるがためにきが…

獨得の波瀾

前場不味に了りたるあと後場は當一四五十錢中先共に一囘七十九錢と寄附二節七十六錢から七十四錢と軟調を辿つた

一時前場に漲つた順鎖氣めの氣分も打ち續く旱天によつて解消されこの頃は早魃氣分が擡頭し愈々仁川獨特のお天氣相場を出現する事になつた現に昨後場の急騰にせよ又今朝下放れにせよ主に天候關係に依る人氣の動搖から來たもので…

天候に懸る

今朝當所の相場が敗地の保合を無視して獨り強硬を維持したのは格別の理由はなく只打ち續く旱天に賣方は警戒なすと同時に早魃見越しの買氣が擡頭して來たに過ぎない從つて近く一と雨降る事になると氣勢の鹵物が又再燃し相場は他愛なく崩れる惧れがあるに反し若しもこの旱天が永續するに於ては全鮮を通じ植付は未だ半ばに…

期米
降雨模樣を眺め一轉崩落す
當限は總見送り

前場　今朝敗地は更に小高く寄付きたるも當所は前日稍買過ぎた嫌のある所へ天候が崩つて來た等から賣方の利喰ひを喚起し當一圓四十錢中一圓八十三錢先一圓七十九錢と十五丁安に始め二節は高値摑みの投物も手傳ひ七十六錢と更に氣崩したが押目は敗地の強硬に買氣強くあとは進節八十錢から二三錢所に持合ひ七十九錢と前日値含みの商狀に前場を終了した

後場　前場不味に了りたるあと後場は當一圓五十錢中先共に一圓七十九錢と寄附二節七十六錢から七十四錢と軟調を辿つた

各地正米市況

五叺大豆一、四二〇叺▲移出なし

國債
賣物招來引弛む

金融關係の成行き多少期待されてゐる樣であつたが期末關係等々新規の買物なく却つて關係筋の賣物招來すること〻なつて調係的に軟調を呈し甲號三回五分の五錢乃至十錢方安くこれに連れて佛貨二十錢方下げたが米貨は出來不申に終つた

東京國債　甲五分利不申第三五分利一〇一八五、一回四分不申二回四分一〇二五佛貨一九五九〇、三三年三分半九七九〇

今日の注目株

拂込一割配當を條件としても五分五厘利廻には買へる株であるから五十五圓までは確實とよい故に現在の市價四十一圓は割安なものであるもし一割二分配當、二十五圓拂込のものとすれば六十圓以上には買へる株である

米界六感

[illegible]

株界日と共に明朗
最惡期を經過して徐々再活躍機運

▼所謂取組消化による玉整理といふものは長期先限の高値取組が消化不良の儘持ち越され翌月の受渡が極端に悲觀される時がヤマであり、實際にそれが當局の軟論盛行する時は、徐々再活躍の萌芽が見え始めるのが例である。

▼最近の商狀は毎日同じやうな一張一弛を繰返してゐるやうであるが心あるものは一日と重苦しい空氣が薄れ徐々明朗化しつゝあるを感ずるであらう。

▼近衞内閣の計畫經濟、統制經濟なるものを極端に惧れてゐる向が少くない我々の視る處では決して一概に悲觀すべきでなく寧ろ樂觀すべき部門が多いのそれは當店調查部に於て最近發行せる調査特報『計畫經濟・統制經濟の本質』の着眼點に就て御一覽願ひたい。

▼貿易頓增大による『郵船』の好影響、資源株中の注目株『北炭』の拂込及増資、多角經營化奏効して再飛躍近き『新鐘』等投資家の着目すべき有望株は少くない。詳細『調査特報』及『景氣レポート』贈呈。

萬年修業
覆面道人

お客と內門人

黑三十一を二十五なら、先づ通常の所で、その點なら先生から叱られはしない。がそれは謂ふところのお客樣で、御客樣を叱つては……處で內門人が黑三十一を二十五だと、コラ貴樣はそれでも萬年修業なんだぞ、と叱る。

道人も贊成

と云ふわけは、黑三十一を二十五だと、次に白三十二…

惡果の參考圖

黑四十四に考へ中

他に安定針路

京日特選棋譜（4）
八段　岡谷三男
一準金

受驗と學生
合格者育成の師父
無敵の特輯
七月號
最近受驗界の展望
技術教育より人格教育
最近大學受驗界の概況
解剖臺上の新志望校
東京市訓導傍系進出法
全・國・學・校・周・遊・記
受驗者激増 本年度の入學競爭率
新合格者に體驗を聽く座談會
受驗者の心得べき數學解答上の注意
鐵道採用試驗の展望
燈臺看守業務傳習生試驗案内
東京女高師體育科募集案内
新合格人國記
本年入試 新代數問題研究
本年度入學試驗答案講評集
學園八面鏡
豫備校の利用價値と中學補習科案内
獨學苦學王國體驗録
朗かな兄弟
ユリの一生
「受驗と學生」第四回 新十二箇月講義
懸賞新模擬試驗問題
懸賞英語常識テスト
昭和十二年度 高專入學試驗問題集
定價五十錢
東京麹町富士見町 振替東京二八六〇一 研究社
明治廿七年創立
有隣生命
基礎は確實 有利で親切な
社長 渡邊甚吉
相談役 藤山愛一郎
支部所在地
本社・東京・丸ノ内
菊池寛著
文章讀本
文章革命の大烽火！十萬部普及の計畫出版!!
物凄い賣行！既に十版突破
定價一円五十錢
モダン日本社出版
萬人國史の精髓でも魂を武裝せよ!!
大日本國民史
全十二卷
時代だ！良書だ！
來るべき日本を指導する皇國史觀始めて完璧！
歴史は國民の血だ肉だ！國史の神髓に徹して始めて明日への飛躍が用意される。政治も經濟も文藝も科學も、一切が皇國の思想的根本問題に觸れて始めて國民大衆の力として動員される。現代史學の最高權威を集めて成る本書は、將に來るべき日本への國民必讀の書として絶對唯一の存在である
顧問 近衛文麿 佐佐木行忠 荒木貞夫 三上參次 德富猪一郎 河野省三
國民大衆の新國史讀本
1、建國王朝時代
2、武家擡頭時代
3、武家隆替時代
4、幕府新興時代
5、幕府全盛時代
6、幕末尊攘時代
7、皇政維新時代
8、國會運動時代
9、日清戰役時代
10、日露戰役時代
11、世界大戰時代
12、國運發展時代
第一回配本全國書店にあり
皇政維新時代
東京麹町區元園町一ノ五一 太陽閣
不動産競賣公告
京城地方法院
商業登記公告
法人登記公告
金良場出張所
黄州出張所
加平出張所
長湍出張所

社説

副島伯の立場

國際オリムピック委員總會に列席した我が代表の活動は既に世の知るところであり、その努力が終に報いられて、冬季オリムピック競技も日本に招致することに成功した。そのことに至るまでの經緯の内には、ラツール伯の終始一貫せる積極的援助に俟つこと極めて多大なるものがあり、我が代表委員の奮闘と共に深く謝するところがなければならぬ。かくして國際オリムピック大會は全面的に日本招致に成功したわけであり、日本國民の滿足は今更云ふまでもない。しかし翻つて日本におけるオリムピック大會準備委員會の現状を見る時、まことに慨歎に堪へざるものがあり、我がスポーツ界の缺陷がこの機において一時に現れて來たのではないかとさへ思はしむるものがある。

×

我等は今ことにその内容について叙説するを好まざるも從來段々世に現れた諸事實について見るも心ある人士は痛歎措く能はざるものがあると思ふ。現状のまゝに於て推移するに於ては、國際オリムピック大會に對する日本の準備が順調に進み得ず、まかり間違へば蹉跌の止むなきに至るのではないかといふ恐れさへあると極言し得られる状態にあるのは遺憾といはねばならぬ。而して若し準備が順調に進展せざるに於ては、明年度の國際オリムピック委員總會に於て、日本大會開催否決の方法もあるといふことをよく知りおく必要がある。若し左様なことにでもなれば、日本の面目は丸つぶれとなるわけであるから、日本國民は全力をつくして之が成功を期し、帝國の威容を全世界に顯揚しなければならぬ。これに失敗するに於ては、面目の丸つぶれどころか、それに伴ふ列國の侮蔑その他に思ひ及ぼすところがなければならぬ。

×

國際オリムピック大會招致につきての日本代表副島伯の最初からの努力と活動とについては、曾く世の知るところであり、冬季大會招致の成功についても、伯は謙遜してその功を一々ラツール伯の好意に寄せてゐるのであるが、同伯の識倫の努力は加納委員の努力と共に國民の深謝おく能はざるものがある。然るに伯の準備委員會における立場は、世間周知の如く極めて特殊の立場に在り、委員の大部分が此の功勞者に對する禮を失してゐるのではないかとさへ思はるゝ節なきにしもあらざることは遺憾である。勿論色々な事由から異論異説の生じ來ることは、大きな仕事であればあるだけ多いことであるには相違ないが、異論異説は異論異説として正々堂々の態度をとるべきであるが、功勞者に對する儀禮は儀禮として鄭重なるべきことを忘れてはならぬ。我等は敢てその事例は指摘せざるも、副島伯の立場に對しては、深く同情の意を表すると共に、準備委員會の今後の態度と活動振りに國民全體が周到なる監察の眼を向けなければならぬことを痛感する。

内地側は二倍を希望
朝鮮は三倍を主張
擴張限度で双方對立

鮮銀保證準備の擴張問題

本府は來る特別議會に鮮銀の保證準備擴張を提出すべく準備中であつたが、これには間に合はぬので通常議會には台灣銀行と共に提出されることゝなつた、目下本府から急激な膨脹をみせつゝある朝鮮經濟界の將來性を豫想した擴張限度を鮮銀當局に明示し鮮銀當局はこの朝鮮自體の經濟に北支その他の經濟状態を加味した擴張限度を考慮中でその結果現在の五千萬圓の三倍即ち一億五千萬圓となることは略確實と見られる

【東京電話】鮮銀當局は鮮銀保證準備發行限度擴張の緊急なる實現を希望する一方、擴張限度も三倍、即ち一億五千萬圓を要望しつゝあるが當局の意向は大體二倍程度の擴張を妥當としてゐるやうであり、結局はこの程度内に落着くものと見られてゐる

鮮銀産金買上げ
五月以降急に激増す
累計三千八百瓩・千三百萬圓

鮮銀に於ける一月以降六月上旬迄の金買上量は三千八百二十二瓩、一千三百七十萬八千圓で前年同期間の買上量に比し二千四百九十四瓩、八百八十四萬八千圓の増加である、月別買上量は左の通りである（單位數量瓩、金額千圓）

	本年 數量	金額	前年 數量	金額
一月	一四	一究	二	一四
二月	一兲	一三	三	三
三月	一壱	三吾	一六	一七
四月	二二	一員	四	三
五月	二、九二	七、奕	二七	一兲
六月上旬	一、三四	四、三三	一四〇	一、六〇
累計	三、八三	一三、七〇八	一、三六	四、八〇〇

江原道内の植付狀況
本府美代技師談

江原道に於ける苗代及び植付狀況視察中であつた美代總督府米穀課技師は此の程歸任したが語る
◇…道でも從來概して良くなかつた春川、華川、金化、鐵原を見たが何れも短冊揚床を實施し、苗代も頗る徹底してゐる、殊に華川の如き僻地では二合播乃至三合播を實施してゐる、昨年迄は品評會を行つてみたが本年之を中止したゝめ道でも多少低下するものと豫想してみたが、扨て愈播種期に入つて見ると播種の勵行と相俟んで管理も非常に徹底された結果は何れも顯著な効果を擧げてゐる、道では本年から五ヶ年計畫で薄播を督勵して居り農民の自覺と相俟つて、著しい効果が表はれるものと思ふ
◇―一方植付は十日現在で六割から七割を終了したが、一部の天水畓が用水不足の程度で昨年同期の植付に比し四割の植付の遅れを思はせた

緊急を要するものは
特別議會に提案
決定した財經三原則

【東京電話】政府は十五日の閣議において日滿兩國を一體とする經濟力の充實發展のため生産力の擴充、國際收支の適合及物資需給の調整の三原則を決定したが、同閣議席上有馬農相、安井文相その他閣僚より現下内外の情勢とわが國經濟力の現狀に鑑み生産力の擴充といつても國防產業を中心とする事を免れず、從つて勤もすれば農村が顧みられぬことになる憾が多々ある、よつて本計畫の具體化に際しては、この際に充分留意し農村を犧牲にせぬやう考慮する心要がある、との意見が提出され更に杉山陸相より
陸軍において作成せる産業五ヶ年計畫案を參考として企畫院に廻付すべし
と各閣僚の諒解を求めた、なほ政府としては今後企畫院を中心にして計畫の具體化を急ぎ大體滿洲國產業五ヶ年案及陸軍の國防六ヶ年計畫と呼應する產業計畫を樹立する方針で、明年度豫算編成と睨合して通常議會を目標に具體案が立てられるはずであるが、最も緊急を要するものは一部特別議會に提案する意向である

小林鑛業増配

小林鑛業では上期決算總會を來る二十九日

晴迷北支を視る
大串特派員

その四

山海關を去るに臨んで第一線の人々から朝鮮及び朝鮮人に對して次の様なことを聞いた

◇

朝鮮人は天津、北平一帶に約一萬一千人、山海關には約七百人ゐる、ある方面の調査によると、これら鮮人の内にはモヒの密賣を主とする不正業者が多く、この問題が中心となつてしばしば日支間に面白くない空氣を作つてゐる。支那四百餘州の內唯一ヶ所の親日地帶である冀東地區内にも想像な一部の朝鮮人が入り込み、大膽な構へで不正業を働き、その上家主である支那人に家賃を拂はず、逆に押へ附ける樣な態度で、各地を荒し廻りこれが原因で冀東政府の誕生前後に約四十名が殺されてゐる、長官殷汝耕氏は〃選民が可哀想だ〃と殺された人々の家族に香典として一萬二千圓を投げ出し、慰めてゐる、さらに長官は朝鮮人のため、近く適當な土地を與へ、正業者へ轉向させる様なプランをたてゝゐる。そこで朝鮮にゐる人々は殷汝耕氏の氣持を汲み、無暴に北支に飛び出すことは注意してほしい、同時に總督府の役人も機會を出來るだけ作つて北支における朝鮮人の實生活を視察し、これを基礎として北支の空で迷つてゐる朝鮮人のため積極的な道を與へてほしい

といふ意味の要望があつた

◇

山海關からいよく天津に向ふ、事變後日支間の通車協定で毎日奉天と北京から二列車つゞ通車してゐる、車の立派なと內地の〃燕〃朝鮮の〃あかつき〃〃のぞみ〃などは問題にならないほど立派なものである、東方旅行會のお世話で自分は一等の展望車に乘つたが乘り心地は大體――新京を走り〃あじあ〃と同樣でとても氣持が好かつた、聞くところによるとこの邊は餘り立派過ぎて、支那側から運轉する車は時々故障を起すさうである、山海關から外國となるので、滿洲國及び朝鮮紙幣を支那紙幣に換へたが、現在で中華民國の銀ドルの値が好くて、朝鮮紙幣の百圓は九十五ドルに換へられ、大いに損をした、同時に情ない氣がした、しかし日本の紙幣が安い所に日貨の進出して行く手もあるのではないかと好い意味に解釋して展望車におさまつた

◇

北寧線の各驛名は漢字、ローマ字の外にうれしいことには日本文字がはつきりと記されてゐる、外國の驛で日本文字を使用してゐるのは世界廣しと云へども この線だけである それが排日支那の圏内を走る汽車だけに自分は愉快にも感じ、皮肉にも思つた、天津には夜十一時着いた、人口百三十萬の大都市の驛としては想つたより貧弱であつた、翌日先づ天津朝鮮人八會を訪れたら狹い運動場で、可愛らしい内、鮮の幼兒九十名が笠井先生のオルガンに合せて、おてゝをつないで踊つてゐた、一歩外へ出れば、內地人も朝鮮人も排日氣に惱まされ、將に一觸即發の空氣が濃厚である、この際悪な空氣も知らずに仲好く唱歌を歌つてゐる園兒の姿はいじらしく、抱きしめてやいたい衝動にかられた、そして、內鮮園兒の生命をあづかる笠井先生の姿は天使の様に思へた

無電台

公平や希望の投稿歡迎・十五字詰四十五行以内・紙上匿名は隨意なるも原稿には住所氏名明記のこと

京城街頭異景

半島の首都とか、人口七十萬の大都市とか、躍進途上の大京城とか數へ來れば京城市民としての誇りは盡つでもあるだらう、併し果して我が大京城は近代都市としての形態を備へて居るか？表面の美しさにのみ眩惑せられず、に静かに我が京城の實相を檢討して見ること

も、あながち市民として無駄なことでもあるまい

×

內地の都市を旅行して歸つて來て著しく感ずることは何か、電車やバスが、ゆつくり運轉してさへ交通事故頻々道路は大體において決して狹くはない、それだのに甚だ騒さい輪禍は常に市民の心を寒くして居る、これは市民としての交通訓練が足りないのも見逃し難い一原因である、京城市民は街頭における動作が緩慢である、交通機關を極度に利用する近代都市の市民として敏速

と言ふ大事な要素を缺除して居る

×

電車やバスでは自分の降りる停留所に近づいたら速かに降りる準備をすべきである、然るにも拘らず停留所に着いて漸くのろのろ座席を立ち出でて降車口に向ふ、これでは狹い昇降口で乘り込む者、降りる者が混雜するのは當然のことである

×

ある日友人と本ブラをしたら懐中電燈を買ふと言ふ、何するのかと聞いたら夜家に歸る時道が暗くて危險だと言ふ、少し場末になると懐中電燈なしでは歩けないのは事實である

×

一歩横町方面何々洞と名のついた方面に足を運んで見よ、凡そ近代都市とは全くかけ離れた狹隘なる不潔極まる小路が存在して居ることを否定出來ないだらう、臭氣紛々たる下水溝の側に名ばかりの道路がある、耶蘇（犬の糞）の點々たるではないか）ことも今に改まらない

×

其の都市における文化の程度を知るには百貨店をのぞくのが一番早い、此の意味に於て百貨店經營者の責任は徐程重い、店員の客の利かないこと、物を買ふのに時間のかゝること、サービスの惡いこと夥げ來れば十指を屈する程改善しなければならない點があると思ふ、銀行サービスステーションは他のデパートが學ぶべきものを持つて居ると思ふ

×

客に對するサービスとはペコペコ頭を下げることのみがサービスではない、出來るだけ客の利便を計ることが眞のサービスであることを記憶すべきである

（東崇山人）

東一の改革案
本府・鮮銀間で研究

東一銀行の改革案は本府と鮮銀間に於て協議を進めて居るが、最近大體成案を得たと云はれて居る、而して改革案の骨子は業務の刷新、内地人行員の増加、行員の給料増加等であるが節も行員については業務と共に七八名の内地人優秀行員を送り更に鮮人行員にありても老朽者を淘汰し新進行員を採用整成し漸次行内の明朗化を計るといふにある

増加である、湖南では昨年までの斥止保植を廢止し本年から五ヶ年計畫で正條植の勵行を開始したがその第一年たる本年は既に八割まで普及されてゐる
◇―一麥作は他道に比して著しく見劣りがするやうだ、これは主として耕地面積の廣大なことに依るものと思ふ、一人當りの耕作面積は二町歩となつてゐるから勞び粗放になるのであらう、視察中最も意外に思つたのは麥の播種期であるのに川植えの見られないのは勞力不足の道として不思議に思はれる

六月上旬の氣象概況

本府半島は前半は大陸高氣壓の圏内にあり、時々揚子江流域より東進する低氣壓も南と半島に接近なく、各地に雨を待つものがあるに拘らず、後半に至つて各地共大體好晴が續いた、後半に至つて稍梅雨性の氣壓配置となり、八日には本州中部より南支那に通ずる不連續線の影響で、中部より南部諸地方に陸雨を見た、雨量は割合に多かつたが中部以上では少く一般に豪雨の惧があつた。氣温は南鮮内陸を除いては一般に高く殊に仁川、平壤、新義州方面では一度九乃至一度六の高目となつた、最高氣温も三、四日頃は三〇度を突破した所可なり多く盛夏を思はせた

夕刊後の市況

午前九時より京城ホテルに於て開催するが、營期配當は五分増配の八分配に內定した

◇…大阪期米引續後場
大新　九二、七〇　一〇安
新新　二七一、八〇　一〇安
日產　七六、六〇　不變
新東　一五三、七〇　一〇安
◇…横濱生絲後場引
當　八三七、〇　先八二四、〇
◇…神戸人絹後場引
當　八二、七〇　先八二、五〇

賀物後場　日曹鋼業二七四圓三大島製鋼五一圓丁日本デイゼル二八圓五エタバイ新一九圓七九州曹達四〇圓五日曹パルプ二三圓丁ザルツ鋼業二〇圓丁足利紡二二圓九

仁川期米本玉

	賣	買	中	賣	買
先	賣	方	買	方	

[illegible]

新京大連間驛傳競走

【大連特電】新京大連間道路の完成最初の試みとして、兩都市間の驛傳競走は、去る七日新京をスタートとして行はれたが途中四平街、奉天、鞍山、金州等を經て十三日午後一時四十六分霧穏本社前のゴールに到着、大連チームが優勝
第一位大連（六十一時間二分二十四秒）
第二位奉天（六十一時間四十分三十二秒）
第三位新京（六十四時間三十三分五十三秒）

日大柔道部
京城軍と對抗

日大柔道部第三回朝鮮遠征の選士一行十六名は豫定を變更、十七日午後三時廿六分着入城、十八日午後四時半から長谷川町朝鮮武道館で全京城軍と對抗戰を行ふことゝなつた

家庭

夏の婦人服

……どんな布地を……とお聞きになる方へ

□……一般に洋装が非常なる勢で大衆化して來ましたことは――それは婦人方の方でその理由とするところはお解りだらうと存じますので――それはさてをき

□……けれども、急激に増える洋装婦人方を見て居りますと、まだ／＼木綿織物が本當によく理解され使用されて居ないのに氣付きました、そこで

□……木綿は大體いゝものなのです。最近絹よりも高價なものさへ現れて來たのです。一度水にくゞるとしんなりと體について來ます。寝着等にはベンベルグよりも夏は木綿を第一におすゝめしたいのです。

□……今年盛んに賣れるのは、藍糸で織つた觸手の優しい感じのリップルクロースです(一米について一圓十五錢内外です) インデアンヘッド、ピケ等は純白色をゆずらず、ます／＼縫り縮などの妙を見せてゐます(一圓五十錢内外です)

□……ポプリンは(一米三〇錢位からあります) ボイル、ジョーゼット等は外出向。

コットンレースはアフタヌーンにブラウスに優美でしかも輕快でよろしく今年流行してをります

鮎のフライ

鮎は腹をひらいて腸をとりよく洗つて布巾で水氣をぬぐひ、鹽と胡椒をふりメリケン粉をつけ、次に鶏卵のとかしたものに浸し、煮立たせた(ヘットかサラダ油)で揚げます。之を二尾づゝ皿に盛り、パセリと粉ふき薯をあしらひます

レヴューガールの軍事教練 寫眞 レヴューガール

[illegible]

渡る世間の裏表

方面委員の溫かい手に抱かれた話 ②

豚箱五日の心境

方面委員に放免され 羽をたゝんだ喧嘩鳥

某町の路地奥に住む佐官屋の李道敏といつても誰もしらないが、喧嘩鳥といへばあゝあの飲んだくれの亂暴者かと、毛蟲のやうに忌み嫌はれてゐる男、打つ買ふ飲むの三拍子揃つた上に呑めば必ず喧嘩騒ぎはいつもながら、老人でも女でも相手選ばず殴りつけ傷を負はせる、全く箸にも棒にもといふならず者で、方面委員も町總代も何回となく喧嘩鳥の被害を訴へられ悲苦したが、『何いつてやがんで方面委員もへつたくれもあるか笑はせやがらあ』つて調子で全く手がつけられない

☆家 は女房と十三の娘の三人暮しで、眞面目に働いてさへゐれば喰ふに困るわけはないが、こんな喧嘩鳥では家族のくらしは惨めなものだつた

×……

その喧嘩鳥が或る日、これはまた神妙な面附きをして、あれほど恐れてゐた方面委員尹氏の後に随いて町内を廻つてゐた、同じ町内に住んでゐる寡婦の李眞珠の老父が死亡したのに葬儀も出來ないでゐるのを、尹氏の取計らひで無料火葬に附したが、その遺族に同情金を集めるといふのだつた

喧嘩鳥は今まで他人に迷惑をかけどほしで何一ついゝことをしたことがない、あの男に一つでもいゝことをさせてやつたらどうだらうと町總代と相談の上、尹氏が喧嘩鳥を呼び寄せて、お前も知つての通りあの寡婦の李眞珠の一家はとても困つてゐるんだから、わし達で同情金を集めてやらうと思ふんだが手傳つてくれないか、といふと喧嘩鳥はさも怪訝さうに首を捻つて口を噤んでゐたが、決して揶揄はれてゐるのではないと解ると、其眞意が納得出來ないまゝに、『ようがすお手傳ひ致しやしよう』…と乗りだして來たわけだつた

☆三 人は日暮まで一軒々々町内の家を訪問して十錢二十錢と零細な金を集め歩いたが人々は意外な喧嘩鳥と殊勝さうな喧嘩鳥に不審の首を傾けながら、恐る／＼金を出してゐた、夕方に一巡り終へるとそれでも約十圓の金額が集まつた

それから尹氏は喧嘩鳥を連れて小さい食堂に入つた、美味さうに貪り喰ふ喧嘩鳥をみると尹氏はつく／＼と彼が憎めない者に思へて、いやこんな男ほど却つて善良なのかもしれない、あゝして亂暴なこと許りして世間に憎まれてゐるが、若し逆に世間から優しい手をさしのべてやつて、人々の暖かさを知らせてやれば、或ひはまともな人間に立ちかへる日も來ようと思つた、やがて食事をすませ尹氏が自分の懐中から此支拂ひをしてそこを出ると喧嘩鳥は、『あつしはまた旦那が集めた金の中から拂ふのかと方面委員なんていゝ加減なもんだと思ひやした、どうも済みません、』ご馳走さんでしたと云つた

×……

☆四 五日後に尹氏は先日の禮に喧嘩鳥の家を訪れると彼の女房と娘が泣きながら出て來て、一昨晩またお酒を飲んで亂暴し他の人を怪我させ、豚箱にはいつてゐると告げた、尹氏は落膽して折角喧嘩鳥の更心を期待してゐた自分が、いかにもお人好しのやうに思へたけれど、このまゝ家族を見殺しにするわけにもいかないので、早速警察署へ出頭して聞いてみると、喧嘩した相手が非常に怒つてゐるからそちらを説得してくれ、さうすれば尹氏が身柄を保證したら今度丈けは釋放してやらうと案外の話だつた、そこで尹氏はその足で被害者の宅を訪れて却々承知しないのを色々と宥めてやつと告訴を取下げて貰つた、然し警察の方にはわざともう四五日喧嘩鳥を拘束して置いてくれるやうに頼んだ

翌日尹氏が喧嘩鳥を訪ねると、『なんていつたつて酒と喧嘩ばかりはやめねえ、』と自棄半分に言ひ放つて後は返事をしない、二日目には、あつしや駄目でさあ、あつしみてえなものを亭主やおやぢにもつた奴は可哀想でさあね、と流石に家族の事が氣にかゝるらしかつた、四日目になるともう喧嘩鳥の方から尹さん毎日御足労かけてすみやせん、きつと、どうせう性をたゝき直して改めますから、どうか旦那方に勘辨して貰つておくんなせえといつた

☆五 日目になると係の警官も、奴さん昨日からとても家族のことを心配してゐるらしい、あの分なら大分奴さん心にこたへたらうから、もういゝだらうといふので、尹氏は早速に主任と相談して出して貰つた

尹氏は餘り悄氣てゐる喧嘩鳥の肩を叩いて、どうだいわしは矢張り放免委員だらうがと洒落れてみたが笑ひもしなかつた、署を出て家に歸るまでに腕組みして考へ込んでゐる彼の後姿に尹氏も何か胸に迫る所があつた樣に思はれた、家に歸つた彼は縋りを擲ぶ女房や娘の口から留守中の委細の一方ならぬ世話や近所の親切な慰問を聞いて涙を流しながら云つた、『今迄の長い夢がさめました、尹さんや近所の人々のお情は本當に身にしみて有難いことです人さまに御迷惑ばかりかけ通して來た私をかうまで親切にして下さつた皆さんの恩ひは死んでも忘れません酒も止めます、仕事に精を出して皆様に御恩返しをせにやなりません』と手をついてわびた

☆そ れから後町内の仕事には率先して奉仕する彼の誠意を数々と人々は見直して行つた、この頃では生活も相當裕からしく妻女も娘も綺麗な着物を着て幸福さうに見えた、喧嘩鳥といふ綽名が今では却つて懐しいほどの不思議な響きさへもつて時々人々の記憶に浮んでくることもあつたが、誰も口に出して喧嘩鳥とは言はなかつた

一流棋戰 争覇戰譜

先番 八段 寺田梅吉
四段 加藤富久

圖は△五七金迄の局面

『持駒』△寺田氏 角金歩二

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
▽香									一
	▽王	▽金							二
	▽歩	▽桂	▽銀		▽金			▽歩	三
▽歩		▽歩			▽歩				四
	桂		歩				歩		五
歩		歩	▽歩					龍	六
	歩		▽角	▽金	銀				七
									八
香				玉				香	九

『持駒』▲加藤氏 飛銀銀桂桂歩六

△五七金迄にて寺田氏勝の最終局面

持時間各七時間 消費計 △寺田氏 四時間五十七分 ▲加藤氏 六時間三分

觀戰記 戰績の回顧 下手敗因は五三歩

六段 飯塚勘一郎

本局の經過を回顧してみるのに、第一局に於ける下手四八銀は、當然一五歩と突越し、何時でも一筋の仕掛けを殘して置くのが順序であつた。上手が一二飛と鐵壁陣を取つたのは、手堅く受けて然る後きびしい反撃に出やうとする、寺田氏得意の作戰であつた。上手方が下手の四七銀に對し、六二銀と上つた處では、四二飛と覗しその時下手二六飛なら四五歩、同歩、三六歩と急戰する指方もあつたやうに思はれる。然し乍ら上手から急戰するのは、餘程決定的な勝利の見込がない限り、強行し兼ねるので、寺田氏が六二銀と敵の腰掛銀を警戒しつゝ適當な好機に進んだのも當然の事であつた。下手が三筋の歩を切り、桂を捌いて二枚銀の連絡を取り、一六飛から一四飛と捌いたのは、まことに絶好の捌きであつたが、上手四三銀に對する三四歩は四五歩と仕掛ける方が優つてゐた。例へ飛は成つても、再びこれを防禦に引くやうでは、比較的効果薄弱である。續いて上手四五歩に對する五三歩は實に此の局の勝敗を左右した一手であつた、その前述べたやうに速やかに同歩と應ずるか、又は八八角と引いて置けば、恐らく下手方優利の局面となつたに違ひない、上手に鋭く四四金と寄せられ六二角と活用されて、五五歩と位を張られて、以下加藤氏は敵より非常な壓迫を受け、指し難い局面を招いた、そしてやむなく桂損をする形勢に立到り、次第に不利の形勢となつた、それでも九七角と覗き三、角成と角を侵入するに及んでは尚未だ指し得る形勢であつたが六七金打の處で六六銀と上り五五歩と逆襲する順を逸して敵より先手に桂馬を捌かれたのは、面白くなかつた、四二馬で六四歩と突き同角と取らせる順を見逃して敵に八四角と出られ、六六歩と利かされてからは、殆んど勝敗は決して終つたかの觀がある。即ち上手方寺田氏が敵にその強引を許する餘地を與へず、靜やかに押し切つたのは下手の指し過ぎとは云へまことに靜やかな手腕であつたのみならず觀戰者の御參考になられた點も、多かつたであらうと思はれる

夏のお辨當

作る前の原料に注意 危い品はどんなもの

六、七、八の三ケ月は食べものの中、殊に暑い時期で、そのうちもお辨當の中の材料が相當の數を占めてゐます、お菜はお美味しくて消化がよくて栄養の豊かなものと云ふ三つのたて前から選ばねばなりませんので、一種類ばかりでなく少量宛でも二三種類にすることが大切です。

"朝炊" いた御飯に、朝拵らへたお菜ならば大ていの場合は腐敗しません、然しそのお菜の原料が悪い爲に中毒することがよくあります。例へば玉子焼き、竹輪、蒲鉾類、魚の照焼けなどは危險です。一寸見たところ新鮮と思はれても、[illegible]ので、プトマインを發生するので

近頃お菜の他に毎日梅干を一個添えさせる小學校がありますが、梅干は中毒を防ぎ、日射病などの豫防にも幾分効果があり、又食慾を進める上に大變よいので結構なことと思ひます。然し日の丸辨當と云つて梅干だけのお菜は栄養の點から不完全です

"詰め" 方の注意としては、湯氣を團扇で煽いで蒸氣が抜けてから蓋をすることです。よく辨當の蓋の裏に水が澤山ついて、御飯の表面が濡れてゐることがありますが、そのために腐敗を早めるからです

浴衣の色止めに

浴衣を仕立てる前に紺の色がどうも落ち易いと思つた場合は前もつて明礬二匙に水一合の割で溶かし霧吹で萬遍なく吹きかけますさうすれば帯や下着にも紺の色がにじむとはありません又洗濯する時には鹽の水に酢酸を少量落しそれに浴衣や羅紗等を暫らく浸してから洗ひますと色が落ちません

明ばん水を使ふ

白き手の人々〔70〕

吉屋信子 作　富永謙太郎 繪

暴風雨の前（一）

辰衛が所用を濟まして、深夜大阪を發つた歸京の列車の寢臺の中で眼を覺して身仕度し、これから食堂へ入らうとした時、汽車は國府津へ着いた。

彼が食堂へ入つて、プレインソーダにウヰスキーを待つて來させて、お手製のハイボールを、朝から機嫌よささうにゴクリと飲み乾して卓上の小皿のピーナッツを一ツ口に嚙みながら、ボーイが運んで來たオートミールのお皿を見るより手を振つて、

「わしは、その猫のへどのやうな物は喰はん、トーストにハムエッグスを持つて來て呉れ」

と、元氣の好い聲を出した、その時、國府津驛から乘込んだらしい一人の乘客が、この食堂車へ入つて來て、きよと〳〵と見廻したが、辰衛の姿を認めると、せか〳〵と近づいた。

「お早うございます」

さういふ聲に、辰衛が振り向くと、そこには、東華モスリンの千住の工場の工場長が、社長の姿を見付けて吻つとしたやうに立つてゐた。

「おう」

辰衛は思ひがけぬ工場長の姿に驚きの眼を瞠つた。

「いつたい、何うしたのかね？」

工場長はあたりを憚る様な聲で

「實は、少々急いでお耳に入れて置きたい事が出來まして、一刻も早くと、こゝまで出向いてまゐりました次第で……」

轉勤如として工場長の申述べるのを、大様に聞き流して、辰衛は、自分の前に明いてゐる椅子を示して、

「まあ、掛け給へ、ゆつくり話は聞かう、何かね？」

さう問ひながら、辰衛は卓のシガレットケースを出して蓋をあけ一本拔いて自分も銜へると、工場長の方へ、シガレットケースを向けてすゝめた。

工場長の方は自分は煙草を取らずに素早く、燐寸を摺つて社長の煙草に火をつけた、彼は工場の下の係りから、辰衛の拔擢を受けて、昇進した人だつた、入社以來勤續十幾年で、一昨年、社長から銀盃も戴つてゐるのだつた。

「かういふ事を今からお耳に入れますのは、少し早計かも知れませんが、兎も角、私の責任上出來る丈け早くお知らせ致して、然るべきお指圖を頂からと思つたのでございまして」

「うむ」

辰衛は工場長の日頃の小心振々とした態度からにもせよ、ともかく彼が頭を惱ます事件が工場内に突發したのだと直覺した。

「何か、工場に持ち上つた事があるらしいね」

「はい、それが大分お察しもつきませうが、出來る丈け注意して、勞働組合員の採用は勿論のこと、從工場員は一切組合に加入させぬ事に關係してゐたのでございますが、最近その規則を破つて、内證に組合に加入して行くものがございまして、殊に女工に働きかけるものが多くて、何處から持ち込んだものか、冒險ピラを巧に頒布したりするので、此の儘では統一が昔のやうにはつきかねますから何とか今の内に方法を講じませんと、他の工場のやうに、サボタージュや、ストライキを惹起すやうな事があつてはと存じ、實は此の一月あまり、幹部でいろ〳〵協議中でございましたが、此の二三日來、どうも穩かならぬ雰氣なので……」

工場長は、くしゃ〳〵のハンケチで額のあたりを押し拭つた。

ラヂオ

子供の時間【六・三〇】食蟲植物の話

李王職植物園 大谷元三郎

大谷元三郎先生は皆さん御馴染の昌慶苑の中にある植物園にお勤めになつて居られる方です

動物が植物を食べることはあたりまへのことですがこゝに食蟲植物と云つて植物でゐて動物を捕へて食ふと云ふ不思議な植物のあることは皆様も既に學校で習つて御承知のことゝ思ひます、この食蟲植物はもうせんごけ、たぬきも、みゝかき草等朝鮮の山野にも自生してをりますから採集して實驗なさるも面白いでせう

×

只今昌慶苑の温室にはうつぼかづら、蠅地獄、サラセニヤ、虫取すみれアフリカもうせんごけ等世界の珍種と云はれる食虫植物が集まつてをりますが、その奇妙な形態そのたくみな捕虫作用にはたゞ〳〵驚くばかりで造化の妙につく〴〵感心させられます

×

私はこれ等の珍奇な植物に興味をひかれて色々彼等の原産地の様子を調べたり文獻物を前にしてそのグロテスクな形態や捕虫の構造や動作等を觀察いたしましたのでそのお話をいたします

趣味講演 內鮮の羽衣傳說 2・30

本府囑託 小山文雄

三保の羽衣傳說はかの砂白く松青き三保の松原を背景として『羽衣』の一曲に美しく嚴しく謠曲に仕組まれてゐて、廣く世人に知られてゐますが、この羽衣傳說は古くから近江國丹後國などにも存して居り、その他諸々にこの傳說の痕跡が殘つてゐまして、朝鮮の金剛山にも聯想を同じうする說話が殘つてゐます

それ等の內鮮の羽衣傳說について話してみたいと存じます

福岡と熊本から俚謠 0・05

福岡…… 福岡縣八女郡矢部村 栗原 信吉外

一、公廟唄

〽こちの座敷はヤーヤーエ祝の座敷、鶴と龜との舞ひ遊ぶ

〽鶴と龜とはヤーヤーエ何して遊ぶ 米は落香と舞ひ遊ぶ

二、米つき唄

〽揃ふたナーサ揃ふたよ五本の杵が、とろりナーサとしんとトコネーサンよく揃ふた

〽米をナーサつくには五人こそよけれ、調子ナーサ揃へてトコネーサンとろとろと

三、茶山唄

〽ヤーレ一つ出しませうかはばかりながら、トコサイサイ聲の惡いのはみな御免

〽ヤーレ揃ふた揃ふたよお茶つみさんが揃ふた、トコサイサイ姿の出揃よりや向揃ふた

熊本…… 熊本縣玉名郡長洲町 楠本 テツ外

嫁入唄

〽親はどんなもの案楽に迷ふて知らぬ他村に嫁にやる

囃 アラヨカノンシノンシ、ホッホヨカヨカ、ヨッナカバンテ、ドウシユウカイカンネンサイ〳〵

家庭講座 10・30 暑氣と榮養

占部 寛海

夏に向ひだん〳〵暑くなつて來ますと吾々の食慾も急に減退し夏痩せとか、暑氣負けとか云ふことにもなります

そこで夏分には成る可く榮養分を攝つて暑氣に對する身體の鍛へを爲さなければなりません

そこで本日は

一、榮養の意義
二、榮養素の種類
三、榮養物の種類
四、榮養物攝取法
五、日本人の榮養物
六、暑氣の榮養物とその攝取法

と云つた樣なことを判り易くお話して見たいと思ひます

ラヂオのプロ

十六日（水）第一放送

- 午前六時（東）體操
- 同六時三〇分（東）獨語講座（三十八）
- 同七時 天氣見込
- 同七時一分（東）朝の修養 日本高僧傳 眞言宗（二）高神 覺昇
- 同九時二〇分（城）氣象通報
- 同九時四五分（城）料理獻立（すき・ア・ラ・クラルモンド）
- 同九時五五分（東）家庭メモ
- 同一〇時三〇分（城）家庭講座 暑氣と榮養 占部 寛海
- 同一一時（東）小學生の時間 一、二〕遊方あそび 東京府四谷第一小學校兒童
- 正午（東）時報・外
- 午後零時五分（福熊）俚謠（福岡）＝福岡縣八女郡矢部村＝松尾三郎・外 一、公廟唄 二、米つき唄 三、茶山唄 原信吾（熊本）嫁入唄 熊本縣玉名郡長洲町 楠本テル、濱田リキ
- 同零時三〇分（東）國民歌謠 獨唱 平井英子 女聲合唱ールナ・コーラー 一、Aの字の歌 二、新鐵道唱歌
- 同零時四〇分 ニュース
- 同一時一五分（城）婦人の時間（朝鮮語・釜山）自己生活に責任を持ちませう 李 弼 玉
- 同二時（城）小學生の時間『學藝會』（全國中繼）初夏の朝鮮だより（京城）京城師範附屬小學校兒童、お話 大石 運平（釜山）釜山公立普通學校兒童
- 同二時三〇分（城）趣味講座 內鮮の羽衣傳說 小山 文雄
- 同三時一〇分（東）教師の時間 學校體育講座（六）學校體育に就て 文部省體育官 栗本 義彦
- 同四時 ニュース・外（釜山・清津）
- 同四時三〇分 京城管業野球（決勝の場合）
- 同六時（城）副業講座（二の五）副業としての園藝（二）甘藷テキスト 水原高等農林學校教授
- 同六時（大）英語講座（第二放送及清津）松岡 哲仙
- 同六時三〇分（城）お話（清津を除く）食虫植物の話 李王職植物園 大谷元三郎
- 同六時三〇分（東）物語（清津）紺タンクと滑豆、サトウハチロー原作 藤 間 秀
- 同六時三〇分（城）兒童と先生の時間（第二放送・京城・平壤）京城梅洞普通學校 一、お話と唱歌 一學年 二、朗讀とお話 朱安の臺田 五學年
- 六時五〇分（東）コドモの新聞
- 同六時五五分（東）カレントトピックス
- 同七時 ニュース・外
- 同七時三〇分（東）講演 勤王思想家 蒲池鏡浮先生の事蹟 結城素明
- 同八時（城）三曲 一、競くらべ 二、ほとゝぎす
- 同八時三〇分（大）義太夫 鎌倉三代記（三浦別れの段）淨瑠璃 竹本雛昇 三味線 鶴澤小仕
- 同九時（大）管絃樂 大阪放送交響樂團 指揮エマヌエル・メッテル
- 同九時三〇分（東）時報・外
- 同一〇時（城）地方へのニュース・外（京城は第二放送による）

第二放送

- 午後零時五分 古謠 事 崗 吾
- 同一時一五分 婦人の時間 李弼玉
- 同二時 小學生の時間（學藝）＝京城より全中＝
- 同六時（大）英語講座
- 同六時三〇分 兒童と先生の時間 梅洞公普
- 同七時 趣味講演 洪 蘭 坡
- 同八時 婦人講座 孫 貞 圭
- 同八時三〇分 新唱劇調 宋永浪
- 同九時（大）ピアノと管絃樂
- 同一〇時 地方へのニュース（國語）レコード音樂（京城）

あすの聞きもの 十七日（木）

- 午後零時五分（東）木曜コンサート
- 同二時三〇分（東）婦人の時間
- 同六時三〇分（仙）お話 水の中へはどうして話や信號を傳へるか 松平正壽
- 同八時（東）獨唱及合唱と純正調オルガン ネトケ・レーヴェ
- 同八時三〇分（城）漫才（京城劇場より）横山エンタツ 杉浦エノスケ
- 同八時五〇分（大）レヴュー 寶塚少女歌劇